

佐賀県の道路2026

ROAD OF SAGA PREF.2026



佐賀県の概要

佐賀県は、県土面積2,441km²、人口794千人で、20市町（10市10町）からなり、佐賀市をはじめとして、唐津市や鳥栖市等、小さな都市が点在する分散型県土を形成しています。地理的には九州の北西部に位置し、東は福岡県、西は長崎県に接しており、北は荒海で知られる玄界灘、南は穏やかで干満差の大きな有明海に面しています。

本県の地勢は、東北部の天山～脊振山塊地帯、西部ないし西南部の丘陵地帯および南部を占める佐賀平野の3つの区分に大別できます。

また、可住地面積は県土面積の約55%と全国的にもその割合が大きく、古くから九州の農耕地帯として栄えてきた佐賀平野を中心として広大な平地を有しています。そのため、通勤、通学を中心に多くの県民が自転車を利用しています。

さらに、朝鮮半島までは200kmほどの距離にあり、地理的にはもちろん、吉野ヶ里歴史公園や名護屋城跡等、歴史的側面からもアジアとの接点は多く、現在でも交流が盛んです。

※出典：面積 … 国土地理院「全国都道府県市町村別面積調査」（R7.7.1時点）
人口 … 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」（R7.1.1時点）
可住地面積 … 総務省「統計でみる都道府県のすがた2025」（R5時点）

一般国道263号（SAGAアリーナ）



さかの景観フォトコンテスト2023 最優秀作品

道路とは

一般に道路とは、一般公衆の通行の用に供せられる道全般のことをいいますが、その中でも道路法上の道路である「高速自動車国道」「一般国道」「都道府県道」「市町村道」のうち、県は道路管理者として「一般国道」の指定区間外区間および「県道」を管理しています。ちなみに、道路法の道路以外には農道、林道、臨港道路、里道、私道等の道路があり、道路法とは別の法律によって整備や管理が行われています。



道路の機能

道路には次のような機能があります。

- 人や車の交通や物流を担う交通機能
- 火災の延焼を防いだり、避難救援活動の場となる防災機能
- 電気やガスなどの公共公益施設の収容空間としての機能
- 沿道の開発を促進させる土地利活用誘導機能

また、この他にも都市内の採光や風通を確保し、植樹帯の緑が潤いある景観を形成するなど、良好な生活環境を保つだけでなく、イベントやふれあいの場としても利用されるなど、極めて多面的な機能を有しています。



主要地方道佐賀停車場線【さが維新テラス】（佐賀市）

佐賀県の道路現況

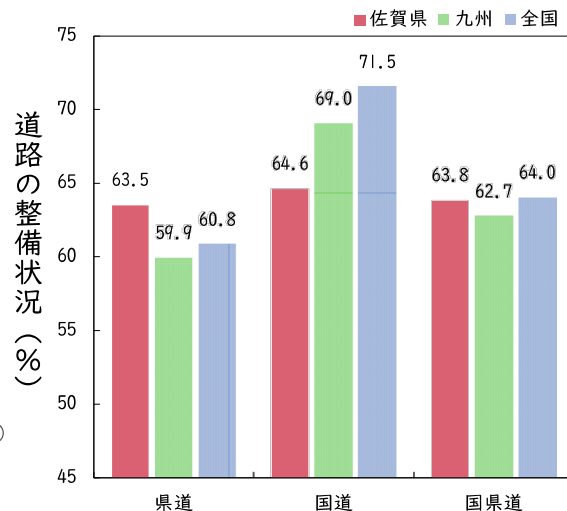
R6.4.1現在

道路種別	路線数	実延長	改良済		舗装済		橋梁		トンネル		歩道設置 道路延長 (km)
			延長(km)	率(%)	延長(km)	率(%)	箇所数	延長(km)	箇所数	延長(km)	
高速道路自動車道	2	81.7	81.7	100.0	81.7	100.0	75	11.9	8	6.7	—
一般国道	18	618.6	610.4	98.7	618.6	100.0	1,413	41.2	22	10.2	459.1
指定区間	7	230.9	230.9	100.0	230.9	100.0	585	20.8	13	5.0	172.2
指定区間外	12	387.7	379.5	97.9	387.7	100.0	828	20.4	9	5.2	286.9
県道	180	1,270.8	935.1	73.6	1,270.8	100.0	1,670	25.7	10	3.7	661.2
主要地方道	43	545.8	451.7	82.7	545.8	100.0	828	11.9	9	3.5	342.9
一般県道	137	725.0	483.4	66.7	725.0	100.0	842	13.8	1	0.2	318.3
市町道	19,762	9,096.5	6,486.9	71.3	8,002.3	88.0	9,359	79.8	8	1.3	816.7
総合計	19,962	11,067.6	8,114.0	73.3	9,973.4	90.1	12,517	158.6	48	21.9	1,937.0

- 注：1) 県道以上は5.5m以上で改良済。市町村道は、5.5m未満も改良済に含む。
- 2) 舗装は簡易舗装を含む。
- 3) 一般国道の指定区間と指定区間外の路線数は、1路線重複している。
- 4) 道路公社管理分含む。
- 5) 延長は四捨五入としている。

道路の整備状況

佐賀県の国県道の整備率は全国平均と同程度ですが、国道の整備率は全国、九州平均を大きく下回っている状況にあり、今後とも幹線道路の整備促進が必要です。



※出典：国土交通省「2024道路統計年報」（R5.3.31時点）
（九州には沖縄県を含む）

道路と生活

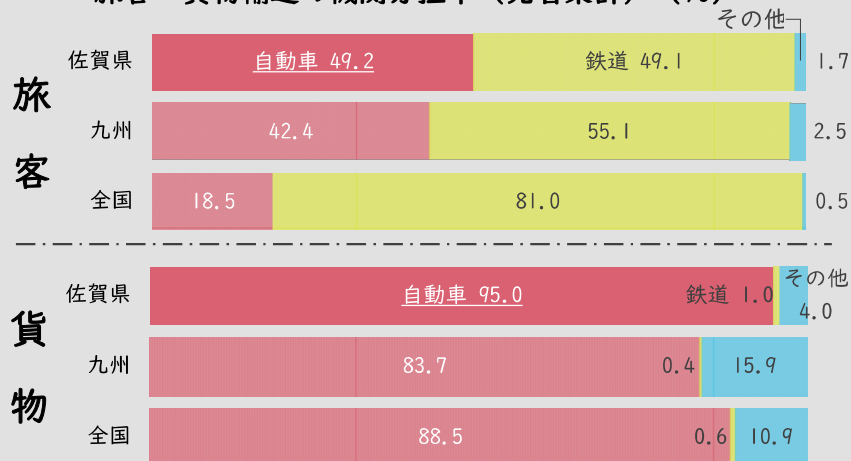
佐賀県では、面積当たり、人口当たり、1世帯当たりの自動車保有台数が、九州・全国の平均を大きく上回っています。

また、旅客の約49%が自動車を使って移動し、貨物の約95%が自動車によって運ばれています。従って、自動車への依存度が高く、日常生活や産業を道路が支えているといえます。

	自動車保有台数 (千台)	面積当たり保有台数 (台/km ²)	人口当たり保有台数 (台/人)	1世帯当たり保有台数 (台/世帯)
佐賀県	696	285	0.88	1.99
九州	11,105	249.5	0.79	1.59
全国	83,011	219.6	0.67	1.35

※出典：国土地理院「全国都道府県市町村別面積調査」（R7.7.1時点）
財自動車検査登録情報協会「都道府県別・車種別自動車保有台数」（R7.7末時点）
総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」（R7.1.1時点）

旅客・貨物輸送の機関分担率（発着集計） (%)

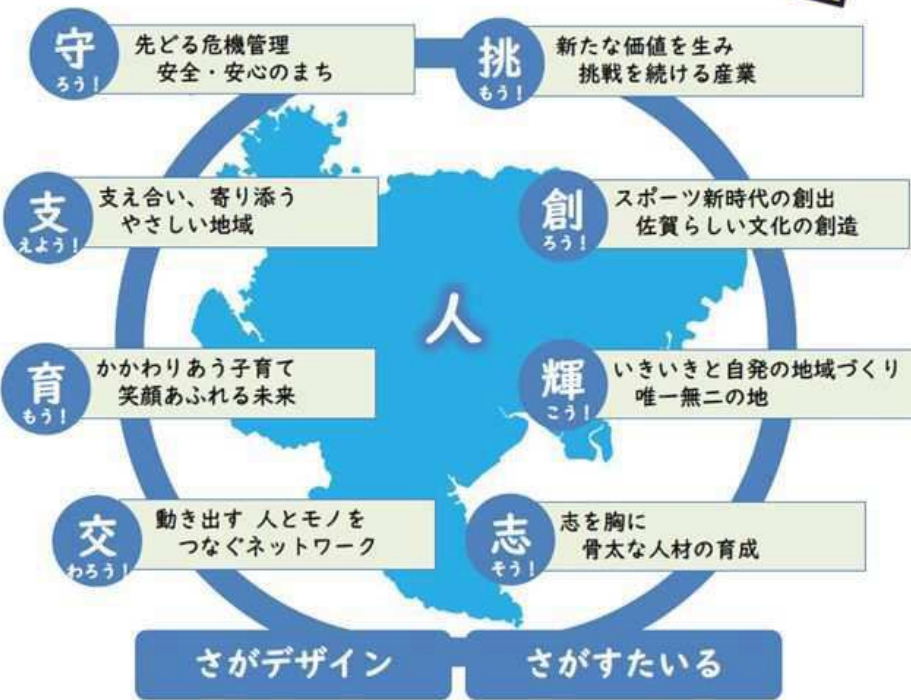


※出典：九州運輸局「九州運輸要覧 令和6年度版」（R4時点）
（九州には沖縄県を含まない）

※自動車は自家用旅客自動車（登録自動車、軽自動車）を除く
※その他は船舶、航空

基本理念

人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり



次世代へつなぐ強靱な道路の保全

未来を拓く幹線道路ネットワークの整備

暮らしに身近な道路の整備



守

先だる危機管理 安全・安心のまち



県民の命や豊かな暮らしを守るため、内水氾濫をはじめ自然災害等を未然に防止する対策が進んでいる。大きな自然災害や新たな感染症が発生した場合でも、全国1位の高い組織率を誇る消防団や医師会等との連携により、速やかに命を守るチーム佐賀・オール佐賀の体制が整えられており、地域と行政が力を合わせて対応に当たり、被害や影響を最小限に抑えている。

県民全体で交通事故や犯罪等の防止に取り組んでおり、森・川・海とつながる豊かな自然環境の中で、県民が安心して暮らしている。



消防団員の確保



SAGA Doctor-S プロジェクト

主な取組

- ・消防団員の確保、PR
- ・SAGA BLUE PROJECT
- ・医療機関等との連携体制構築
- ・プロジェクト I F
- ・SAGA Doctor-S プロジェクト
- ・森川海人プロジェクト など

交

動き出す 人とモノをつなぐネットワーク



有明海沿岸道路や佐賀唐津道路、西九州自動車道、国道498号等の整備が進んでおり、九州佐賀国際空港や唐津港・伊万里港とともに、交流ネットワークが形成されている。

滑走路延長等で海外路線が増える九州佐賀国際空港を中心に、筑後・佐賀エリアが有明海沿岸道路で結ばれて北部九州の新たな発展軸として重要な役割を果たしている。

鉄道やコミュニティバス等の公共交通が地域の移動手段として維持されており、住民や国内外からの観光客の交流が盛んになっている。



広域幹線道路の整備



世界とつながる九州佐賀国際空港

主な取組

- ・有明海沿岸道路、佐賀唐津道路、西九州自動車道、国道498号等の整備
- ・九州佐賀国際空港の利活用促進、滑走路延長 (2,500m化)
- ・身近な道路 (通学路等) の整備
- ・地域における多様な移動手段の確保
- ・唐津港・伊万里港の利活用促進 など

佐賀県の道路整備方針～佐賀県施策方針2023～

未来を拓く幹線道路ネットワーク整備

■広域幹線道路の整備

○取組方針

広域幹線道路ネットワークの整備に重点をおいて取り組みます。特に、有明海沿岸道路と佐賀唐津道路が接続するエリア「Tゾーン」の整備を重点的に取り組みます。



○対象路線

(東西軸)有明海沿岸道路、西九州自動車道
(南北軸)佐賀唐津道路、国道498号



くらしに身近な道路の整備

■県管理道路の整備

○取組方針

渋滞の緩和や道路利用者の安全・安心で快適な道路環境の整備に取り組みます。

■通学路における歩道整備

○取組方針

誰もが安心・快適に移動できるよう歩道や自転車通行空間等の整備に取り組みます。特に、通学路の合同点検における要対策箇所を重点的に整備します。

■歩道のユニバーサルデザイン化

○取組方針

歩道の段差のスロープ化や視覚障害者用誘導ブロックの設置など、ユニバーサルデザインを考慮した歩道整備に取り組みます。



次世代へつなぐ強靱な道路の保全

■長寿命化修繕計画に基づく維持修繕

○取組方針

長寿命化計画に基づいた計画的な維持管理を行います。また、地震による落橋を防止するため橋梁の耐震化に取り組みます。

■道路施設の防災対策

○取組方針

施設点検の結果を踏まえ、要対策箇所の防災対策を進めます。特に、災害時に人員や物資の輸送を担う緊急輸送道路の対策について優先的に取り組みます。



■路面下空洞の対策

○取組方針

緊急輸送道路のうち交通量の多い路線や埋設物が多い都市部などを優先的に調査し、陥没事故の未然防止に取り組みます。

規格の高い道路の整備

佐賀県の道路整備の重点項目として掲げる「広域幹線道路ネットワークの整備」を進めるうえで重要なものとして、高規格幹線道路、地域高規格道路があります。これら高速交通ネットワークの整備により、時間短縮や定時性の向上が図られ、地域資源を生かした産業の立地や活発な経済活動が促進されることで、地域の飛躍が期待されます。

高規格幹線道路

高規格幹線道路は、自動車の高速交通の確保を図るために必要な道路で、全国的な自動車交通ネットワークを構成する自動車専用道路を言います。高規格幹線道路が整備されることにより、時間・距離の短縮や交通ネットワークの信頼性の向上が図られます。さらに、他の地域との連携や交流も促進され、地域振興に大きく貢献することが期待されます。

佐賀県内には、高規格幹線道路として九州縦貫自動車道鹿児島線、九州横断自動車道長崎大分線および西九州自動車道の3路線があります。

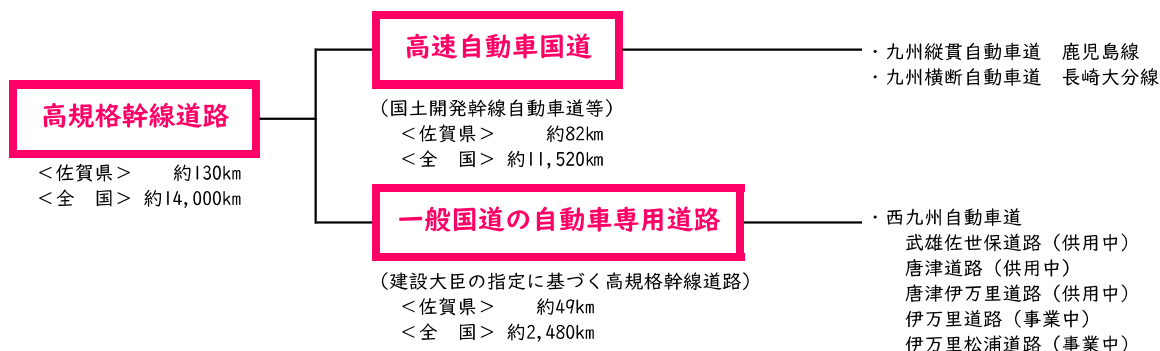
西九州自動車道は、隣接する福岡県・長崎県を結ぶ県北の東西軸となり、県北部地域における経済成長が期待されます。



西九州自動車道 伊万里道路
永山地区（函渠工）整備中（R7.9）



西九州自動車道 伊万里松浦線（供用中）
（佐代川橋付近から長崎県側を望む）



地域高規格道路

地域高規格道路は、地域の自立という観点から、高規格幹線道路ネットワークと連携して、広域的な地域の連携による「地方集積圏」の形成、集積圏相互の交流促進、交通拠点との連携を図るもので、2車線以上の自動車専用道路、または、これと同程度の機能を有し、概ね60km/h以上で走行できる質の高い道路です。

現在、佐賀県内において有明海沿岸道路は県南の東西軸として、佐賀唐津道路は県央の南北軸として、地域間の連携強化、交流促進による地域振興のため重点的に進めています。

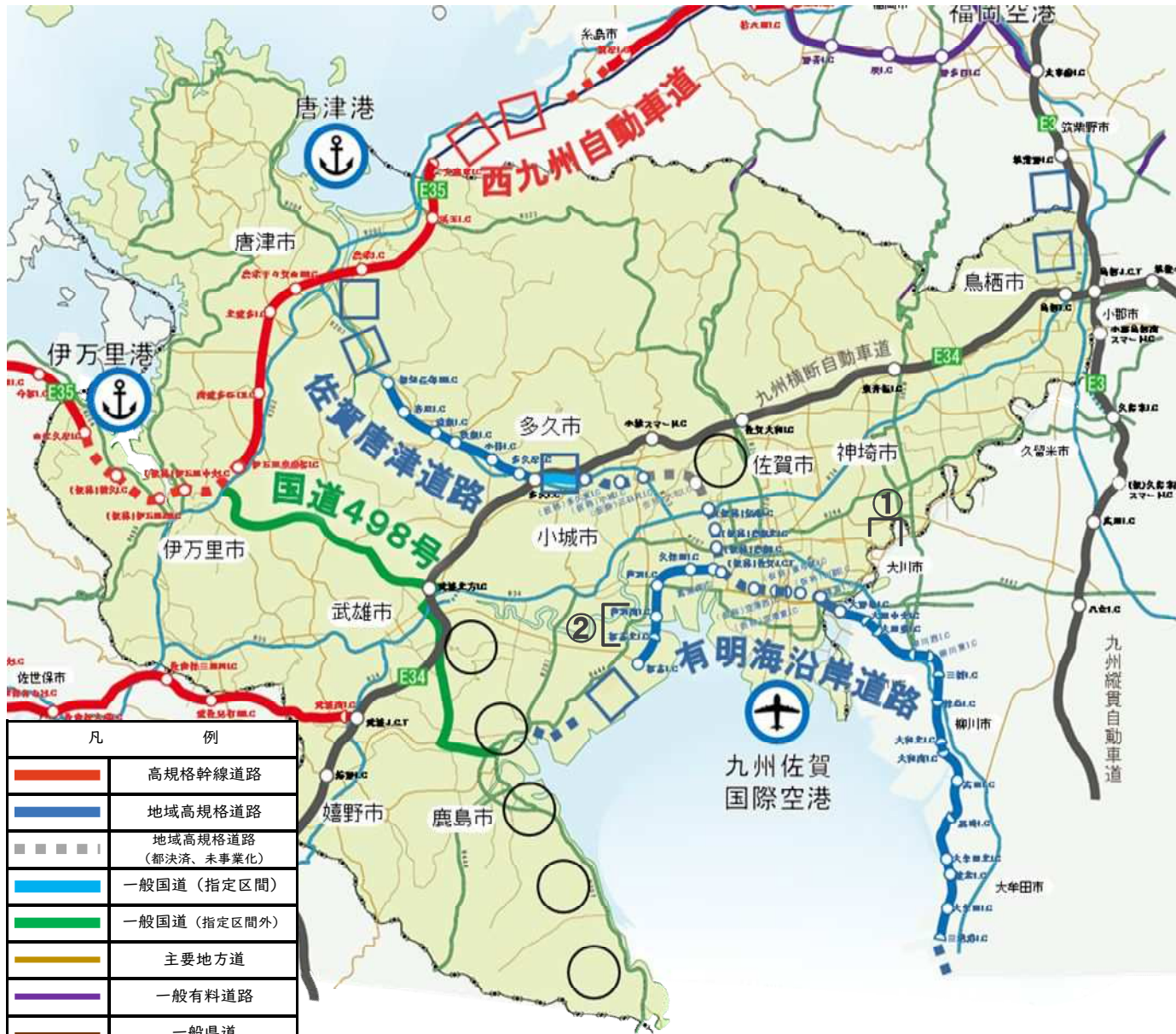


○佐賀県の地域高規格道路指定一覧

路線名	路線の指定		区間の指定		起点	終点	概略延長 (km)
	候補路線	計画路線	調査区間	整備区間			
有明海沿岸道路	H6.12	H6.12			大牟田市新港町	杵島郡白石町深浦	約55
大川佐賀道路			H8.8	H12.12	大川市大字大野島	佐賀市嘉瀬町	約10
佐賀福富道路			H9.9	H12.12	佐賀市嘉瀬町	杵島郡白石町福富	約10
福富鹿島道路			H9.9	H17.3	杵島郡白石町福富	杵島郡白石町深浦	約9
佐賀唐津道路	H6.12	H6.12			唐津市	佐賀市嘉瀬町	約40
唐津市～相知町			H7.8		唐津市	唐津市相知町	約10
多久市～佐賀市			H10.12		多久市東多久町	佐賀市嘉瀬町	約14
多久佐賀道路（I期）			H10.12	H15.9	多久市東多久町	小城市三日月町	約5
佐賀道路			H10.12	H28.4	佐賀市鍋島町	佐賀市嘉瀬町	約4
厳木バイパス 厳木多久道路 東多久バイパス				H7.4	唐津市相知町	多久市北多久町	11
福岡鳥栖道路	H6.12				春日市	鳥栖市	-

- 注：1）候補路線：地域高規格道路として整備を進めることの妥当性・緊急性等について検討を進める路線
- 2）計画路線：地域高規格道路として整備を進めたいため、基礎的なデータの収集、路線全体の整備計画の検討を進める路線
- 3）調査区間：計画路線のうち、ルート選定、整備手法、都市計画、環境影響評価等の調査を進める区間
- 4）整備区間：計画路線のうち、事業着手に向けて、都市計画決定手続、環境影響評価手続、予備設計等を進める区間

広域幹線道路ネットワークの整備状況



凡 例	
	高規格幹線道路
	地域高規格道路
	地域高規格道路 (都決済、未事業化)
	一般国道 (指定区間)
	一般国道 (指定区間外)
	主要地方道
	一般有料道路
	一般県道
	事業中区間 調査中区間
	構想路線



① 有明海沿岸道路 (大野島IC~諸富IC)
令和4年11月12日開通



② 有明海沿岸道路 (芦刈南IC~福富IC)
令和3年7月24日開通

佐賀県内における広域幹線道路の供用状況

路線名	供用状況
西九州自動車道	
三丈鹿家IC~唐津IC	供用中
唐津IC~伊万里東府招IC	供用中
伊万里東府招IC~(仮)伊万里西IC	事業中
(仮)伊万里西IC~山代久原IC	事業中
山代久原IC~今福IC	供用中
有明海沿岸道路	
大野島IC~諸富IC	供用中
諸富IC~(仮)佐賀JCT	事業中
(仮)佐賀JCT~嘉瀬南IC	事業中
嘉瀬南IC~芦刈南IC	供用中
芦刈南IC~福富IC	供用中
佐賀唐津道路	
(仮)佐賀JCT~(仮)鍋島IC	事業中
(仮)三日月IC~(仮)多久東IC	事業中
東多久バイパス	供用中
飯木多久道路	供用中
飯木バイパス	供用中
一般国道498号	
松浦バイパス	供用中
大坪バイパス	供用中
若木バイパス	供用中

西九州自動車道の整備により

移動時間の短縮！物流の効率化を支援！！

物流の効率化



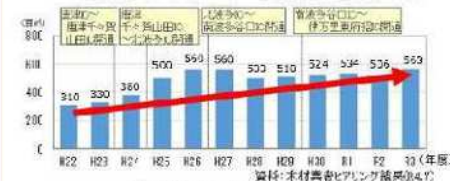
伊万里港 (伊万里市)

- 唐津伊万里道路の整備により、福岡方面への**所要時間が約11分短縮！**
- 沿線企業の約6割が西九州自動車道を利用しており、そのうち、約7割が「**移動や輸送の効率化**」、約4割が「**時間短縮による販路拡大**」といった効果を実感！
- 西九州自動車道の整備は、輸送時間の短縮による物流の効率化に寄与！

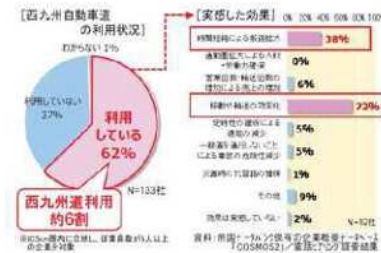


※1 南久保交差点～唐津交差点で算出
 ※2 唐津伊万里道路に特約運賃(0円/km)を、その他の道路は、承継運輸料を標準として、所要時間を算出
 資料：全国道路・街路交通情勢調査(H22)

▲木材コンビナート～福岡方面の所要時間



▲福岡方面への木材出荷量の推移



▲西九州自動車道の利用状況及び実感した効果

西九州自動車道の整備により

企業が西九州自動車道沿線の工業団地等に進出！

企業の進出を促進



伊万里港 (伊万里市)

- 西九州自動車道の整備に伴い、沿線地域の**企業立地数や新規雇用数が増加！**
- 沿線には、半導体製造には必要不可欠なシリコンウェーハ製造大手の**(株)SUMCOが工場増設・新設！**
- 新生シリコンアイランド九州の実現には、西九州自動車道の整備が不可欠！**

唐津伊万里道路の供用とともに企業立地数や雇用者数が増加

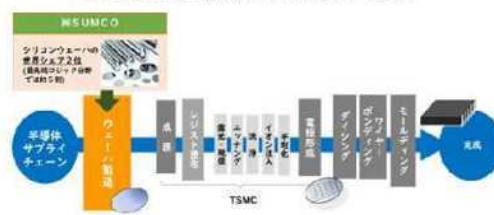


※進出企業数は増設等含む 資料：唐津市、伊万里市経済振興科

▲進出企業数と新規雇用者数の推移 (累計)



▲沿線地域の企業立地状況



▲半導体製造工程



▲(株)SUMCOについて

有明海沿岸道路



有明海沿岸道路整備により九州佐賀国際空港利用交通が広域化！



飛行機+自動車で
空港利用圏が拡大!!

出典：佐賀県HP

出典：佐賀県

九州佐賀国際空港を出发する交通の目的地



佐賀県南部エリア等、
空港利用圏が拡大

地理院スタイル(標準スタイル)を加工して作成

①以前の目的地
②以降の目的地(追加)

- ①佐賀福岡道路(芦刈南IC～福岡IC) R3.7.21開通
- ②大川佐賀道路(大野島IC～諸富IC) R4.11.12開通

出典：HONDAプロテックカーデータ

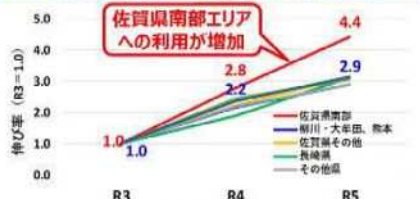
九州佐賀国際空港乗降客数の推移



コロナの影響を受けるも、着実に回復!

出典：佐賀空港の年度別・月別利用実績

地域別レンタカー乗捨て台数の伸び率



佐賀県南部エリアへの利用が増加

出典：トヨタレンタカーデータ(空港発)

九州佐賀国際空港レンタカーキャンペーン ～最初の24時間の利用料金が1000円!～

出典：佐賀県HP

有明海沿岸道路(、佐賀唐津道路)の整備により沿線地域の観光振興の促進に貢献!



道の駅しろいし

地域産物の販売、発信を通じ、
地域を元気にするとともに、
県内外多くの人が来訪する観光
拠点として機能

出典：道の駅しろいしHP



祐徳稲荷神社

出典：佐賀県HP



海中鳥居

出典：佐賀県鹿島市公式観光サイト

道の駅しろいしに来訪するドライバーの出身地分布

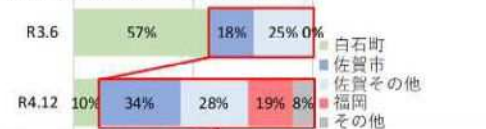


福岡南部方面等、
来訪圏が拡大

- ①佐賀福岡道路(芦刈南IC～福岡IC) R3.7.21開通
- ②大川佐賀道路(大野島IC～諸富IC) R4.11.12開通

地理院スタイル(標準スタイル)を加工して作成

●来訪するドライバーの出身地割合



佐賀市・福岡方面など、白石町外からの来訪者が大幅に増加

出典：HONDAプロテックカーデータ

道の駅しろいしの来訪者数の推移



【R5.8 来場者100万人突破】

有明海沿岸道路延伸整備後、
1.7倍に増加

- 佐賀福岡道路(芦刈南IC～福岡IC間) R3.7開通
- 大川佐賀道路(大野島IC～諸富IC間) R4.11開通

出典：道の駅しろいし

道の駅しろいしへのアンケート結果

芦刈南IC～福岡ICの開通により来訪者数、売上が増加しました。特に、大牟田方面など東側遠方からの来訪者が増加しています。



有明海沿岸道路、佐賀唐津道路整備により 鉄道と連携した農産品輸送体系を強化！



鉄道と連携した大消費地への農産品輸送イメージ



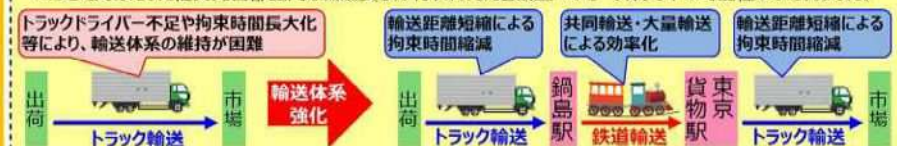
東京卸売市場における産地別いちごの取扱量



佐賀県内のいちご作付け面積割合



～令和4年度 遠方産地から大消費地等への輸送におけるモーダルシフトに関する実輸送実験（農林水産省）～
 ・いちごを対象とした佐賀県首都圏向け輸送実験が行われ、鉄道輸送へのモーダルシフトの可能性が示されました。



有明海沿岸道路、佐賀唐津道路整備により 農業を通じた地域の飛躍に貢献！



白石町における農業(いちご)にかかる取組

【いちごパッケージセンター】
 生産者に代わり、いちごパッケージセンターでバック詰めを請負い、生産者の負担を軽減



【トレーニングファーム】
 新規就農者の増加を目的とし、2年間の研修を遣って農家としての確り立ちを支援



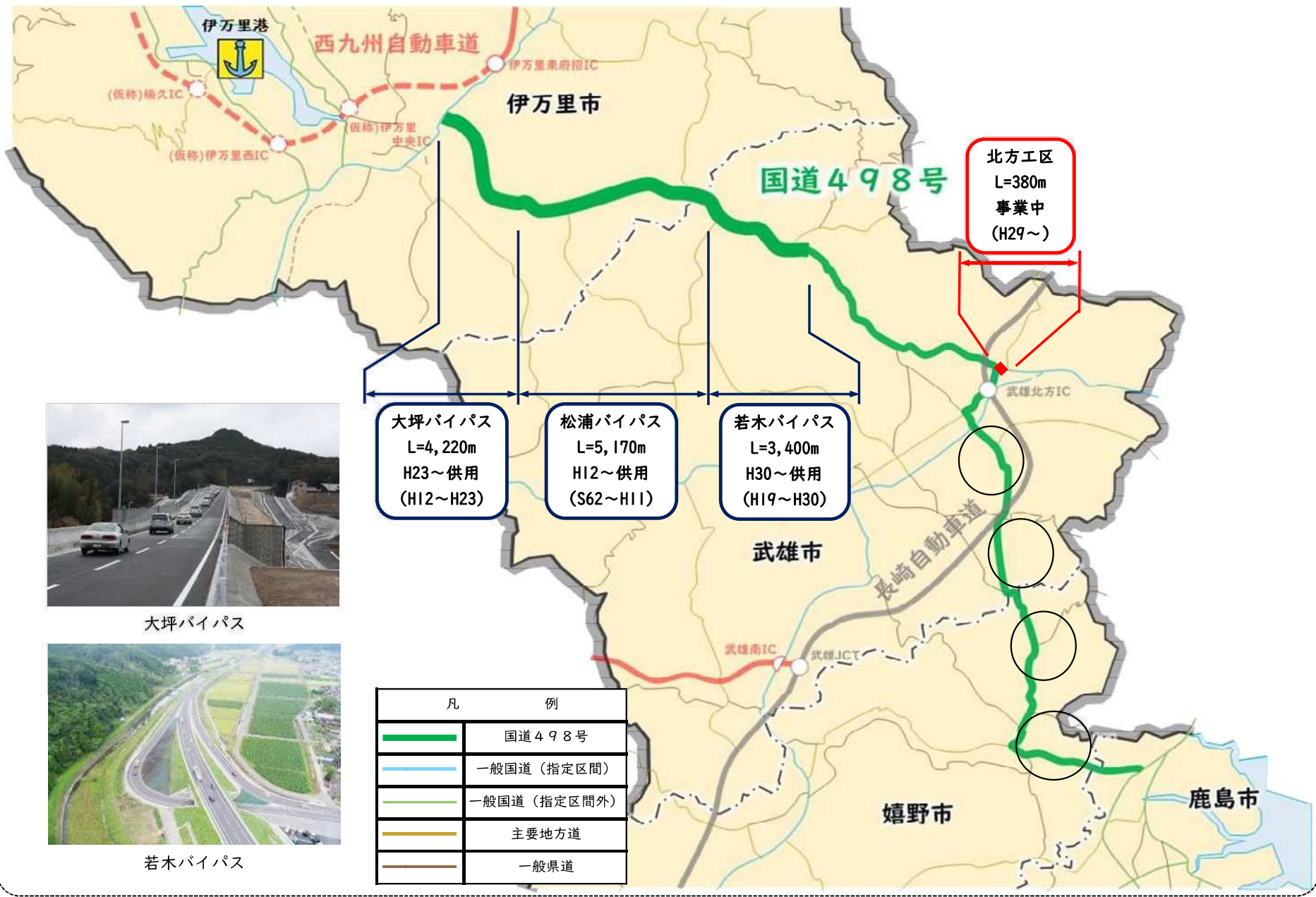
白石町からの農産品輸送イメージ



白石町の農業出荷額上位5品目



一般国道498号



大坪バイパス



若木バイパス

凡 例	
	国道498号
	一般国道 (指定区間)
	一般国道 (指定区間外)
	主要地方道
	一般県道

佐賀県新広域道路交通計画

佐賀県新広域道路交通計画は、今後の道路整備・管理や道路交通マネジメント等の基本となるものです。「広域道路ネットワーク計画」「交通・防災拠点計画」「ICT交通マネジメント計画」から構成されます。

・広域道路ネットワーク計画

平常時・災害時および物流・人流の観点から踏まえた具体的な道路ネットワークを計画したものです。

・交通・防災拠点計画

交通拠点の整備、交流・観光拠点の整備、物流拠点の整備、防災拠点の機能強化を推進することで広域的な道路ネットワークの機能強化を図るもの。

・ICT交通マネジメント計画

ICTやAI、ETC2.0等のビッグデータを積極的に活用することで、道路交通の課題解消に向けた交通マネジメントの強化を図るもの。

広域道路ネットワーク

高規格道路

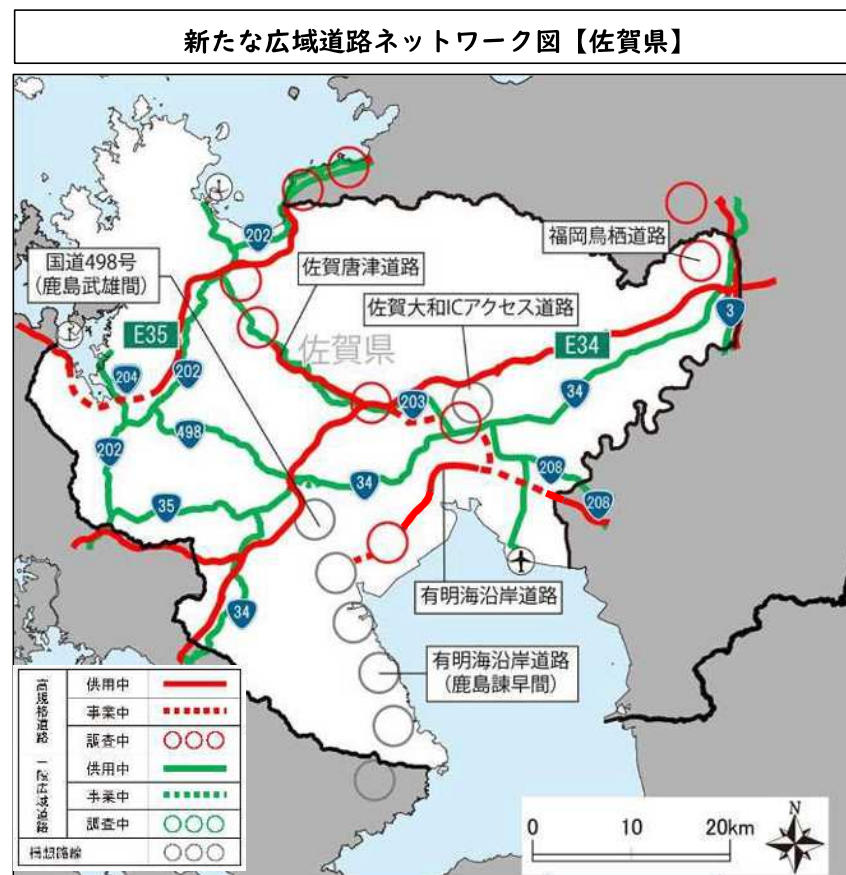
- ブロック都市圏間を連絡する道路
- ブロック都市圏内の拠点連絡や中心都市を環状に連絡する道路
- 上記以外と重要な空港・港湾を連絡する道路

一般広域道路

- 広域交通の拠点となる都市を効率的かつ効果的に連絡する道路
- 高規格道路や上記道路と重要な空港・港湾等を連絡する道路


構想路線

- 広域道路としての役割が期待されるが、起終点が決まっていない等、個別路線の調査に着手している段階にない道路



本計画図は、具体的な路線のルート、位置等を規定するものではありません。

佐賀県新広域道路交通計画

詳しくはこちら 

一般道路の整備

佐賀県が管理する道路は、令和6年4月1日時点で192路線、実延長1,658kmもの道路がありますが、慢性的な交通渋滞や幅員狭小、線形不良などにより安全で円滑な通行に支障をきたしている区間が県内各地で存在します。

そのため、各々の支障箇所の状況にあわせて道路拡幅、バイパス整備、線形の改良や交差点における右折車線の設置などを実施することにより、利用者が安心して通行できるような道路の整備に取り組んでいます。



一般国道204号（旧道）



一般国道204号 バイパス整備（唐津市）

交通安全対策

歩行者や自転車利用者の安全と円滑な自動車交通を確保するため、自転車道や歩道の整備、交差点改良等を促進しています。

主な取組として、事故が多発している交差点などの事故削減対策や「通学路の安全対策」として、歩道整備などを実施しています。

また、利用者の立場に立った系統的で分かり易い道路標識の設置や道路情報提供の充実によって、円滑な道路交通の実現に努めています。



一般国道444号（佐賀市）



通学路の安全対策

平成24年4月に京都府亀岡市で発生した事故や、令和元年に滋賀県大津市で発生した事故、令和3年に千葉県八街市で発生した事故等を踏まえ、これまでに関係府省庁と連携し、通学路や未就学児の移動経路の合同点検や交通安全対策を実施してきました。

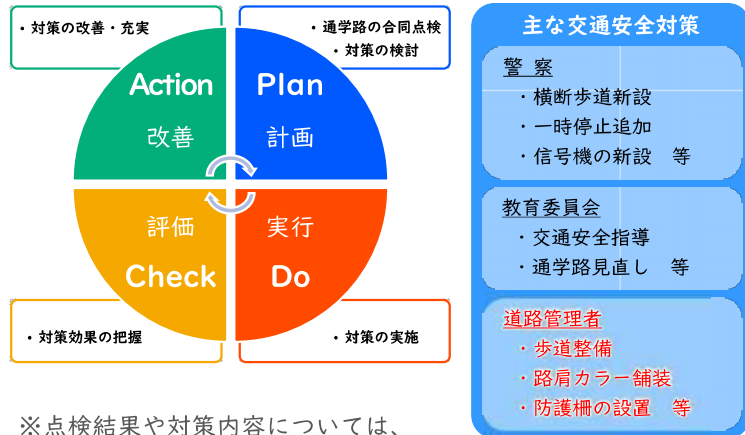
引き続き、通学路における安全対策の実施を推進するとともに、PDCAサイクルによる取組も推進していきます。

連絡会議等の推進体制

- ・教育委員会
- ・学校
- ・PTA
- ・警察
- ・道路管理者
- ・自治会代表者
- 等

通学路交通安全プログラム※等の策定

・PDCAサイクルの実施方針等 ※市町策定



※点検結果や対策内容については、各市町のホームページに公表されています。

○道路管理者が実施する対策事例

路肩カラー舗装



整備前



整備後

防護柵の設置



整備前



整備後

その他対策



スミーズ横断歩道の設置

ゾーン30プラスの取組推進

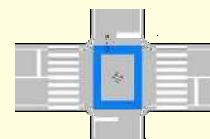


SAGA BLUE PROJECT

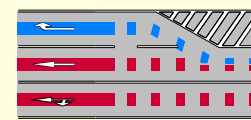
人口10万人当たりの人身交通事故発生件数が、いまだ全国ワーストレベルにあることを踏まえ、交通事故防止対策として、他県や国で実施された対策を参考に、『交差点のカラー化』『わかりやすい注意喚起』を行い、交通事故発生抑制対策に取り組んでいます。

また、交差点のカラー化というハードの取組に併せ、新たにデザインの力を活用した意識啓発や県民参加型のソフト対策を行い、交通事故の減少に向けた「SAGA BLUE PROJECT (SAGAブループロジェクト)」に取り組んでいます。

○『交差点のカラー化』施工イメージ



交差点のカラー化



交差点レーンのカラー化

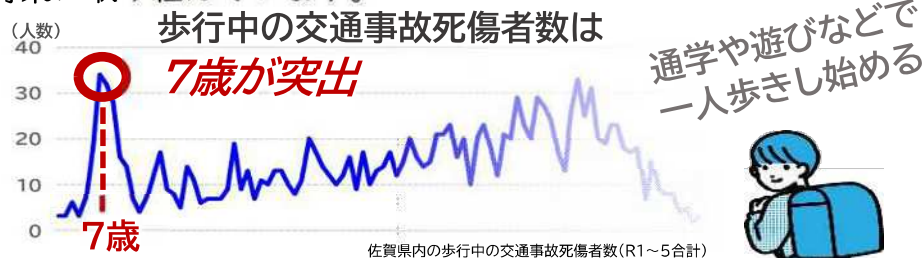


<施工例> 一般国道208号
佐大南交差点 (佐賀市)

7さいめせんのこうつうあんぜん

背景

歩行中の交通事故死者数は7歳が突出している現状を踏まえ令和7年度から新たに「7さいめせんのこうつうあんぜん」対策に取り組んでいます。



こどもの歩き方

- 大人と子どもの目線の違いにより、物の見え方が異なる。
- 側溝をのぞき込む、縁石の上を歩くなど、子供ならではの特性がある。



取組

大人と子どもの目線や行動の違いを踏まえた道路の点検や対策を行うことで、誰にとっても安全な歩行空間の拡充を図ります。

令和7年度は、2市町でモデル地区の点検を実施し、子どもの行動特性を言語化してくれる専門家等の意見を踏まえながら、子ども目線を取り入れた点検・対策マニュアルを作成しました。

例えば、横断歩道周辺の街路樹



低木を撤去



作成したマニュアルは、地域ぐるみで活用し、点検、事例収集を行い、マニュアルの改善・強化を図っていきます。

歩道のユニバーサルデザイン化

横断歩道部において、歩道と車道の上に設置されている歩道縁石は、歩道と車道の境界を明確にするため、2cmの段差をつけることで、視覚障害者の方が、その境界を認識しやすいようにしていました。

しかし、高齢者の方がつまづく、車椅子やベビーカーなどでスムーズに利用できないなどの意見が多く寄せられたため、歩道の段差のスロープ化や視覚障害者誘導用ブロックの設置など、ユニバーサルデザインを考慮した新たな標準仕様を作成し、すべての利用者が安心・安全で快適に通行できる歩道整備に取り組みます。

従来の歩道縁石

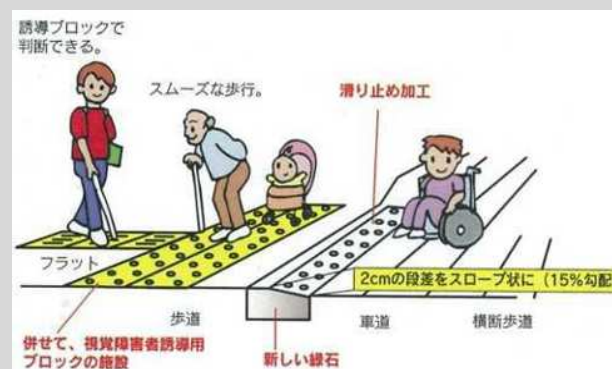


<事例>

- 視覚障害者誘導用ブロックがない
- 側溝蓋の穴に、杖やハイヒールが挟まる



新しい歩道縁石



<事例>

- 視覚障害者誘導用ブロックの設置
- 側溝の改善
・蓋の隙間を無くす
・排水を良くする



道路空間の利活用

心地良く

歩きたくなる取組

歩こう。
佐賀県。



SAGAサンライズパーク



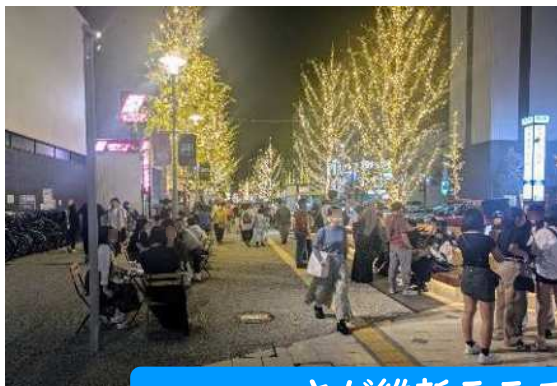
さが維新テラス



サンライズストリート (ウォークブルなまちづくり)



さが維新テラス (公共空間の活用)



佐賀城公園 ころざしのもり

道路の維持管理

道路はただ新しく整備するだけでなく、整備が終わり、供用を開始した後も道路機能を保持し、利用者が安全に利用できるよう、適切に維持管理を行っていくことが必要です。そのため定期的にパトロールを行い、適宜補修を行っています。

通常巡視

夜間巡視

緊急巡視

特別巡視



※緊急巡視：台風接近時などの異常気象の際に、倒木や土砂崩れなどにより、通行に支障がないか確認するための巡視

※特別巡視：通常巡視からでは把握しにくい細部の道路維持管理を目的とし、徒歩で巡視を行う。

<事例>道路の維持管理



雪氷対策



小規模補修（現場打ち側溝蓋設置）

道路の防災対策

道路防災点検や大雨等の異常気象時の調査により、法面のクラックや土砂崩壊、落石等が確認されるなど、道路利用者の安全な通行に支障を及ぼす可能性がある箇所について、道路施設（道路法面等）の防災対策や老朽化対策を実施することにより災害を未然に防止し、道路の安全性・信頼性の向上を図ります。

<整備事例>道路法面对策

整備前



整備後



<整備事例>落石対策



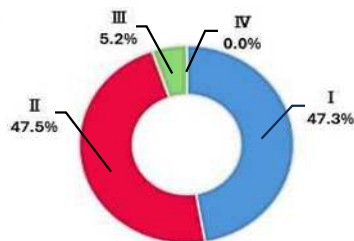
橋梁の維持管理

橋梁定期点検

道路橋については、道路法施行規則に基づき、5年に1回の頻度で近接目視による定期点検を実施しています。定期点検の目的は、橋梁の健全性を把握し、損傷の早期発見・早期対処により、常に良好な状態に保つことです。橋梁の健全性診断は、道路橋の機能に影響を及ぼすかの観点で4段階に区分されます。



判定区分の内訳
(R1～R5)



区分	定義
I 健全	: 道路橋の機能に支障が生じていない状態。
II 予防保全段階	: 道路橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III 早期措置段階	: 道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV 緊急措置段階	: 道路橋の機能に支障が生じている、または生じる可能性が著しく高く、緊急に措置をすべき状態。

橋梁の耐震化

緊急輸送道路を構成する道路橋については、近年発生している大規模地震を踏まえ、落橋・倒壊の防止対策に加えて、路面に大きな段差が生じないように、支承の補強や交換等を行い、橋としての機能を速やかに回復させることを目指した対策を今後加速させる必要があります。

県内の主要活断層で地震が発生した場合
最大でマグニチュード7以上（震度6～7程度）
となる恐れが・・・

橋梁の耐震化が急務

<実施事例> 橋梁耐震化対策



橋脚補強（コンクリート巻立）

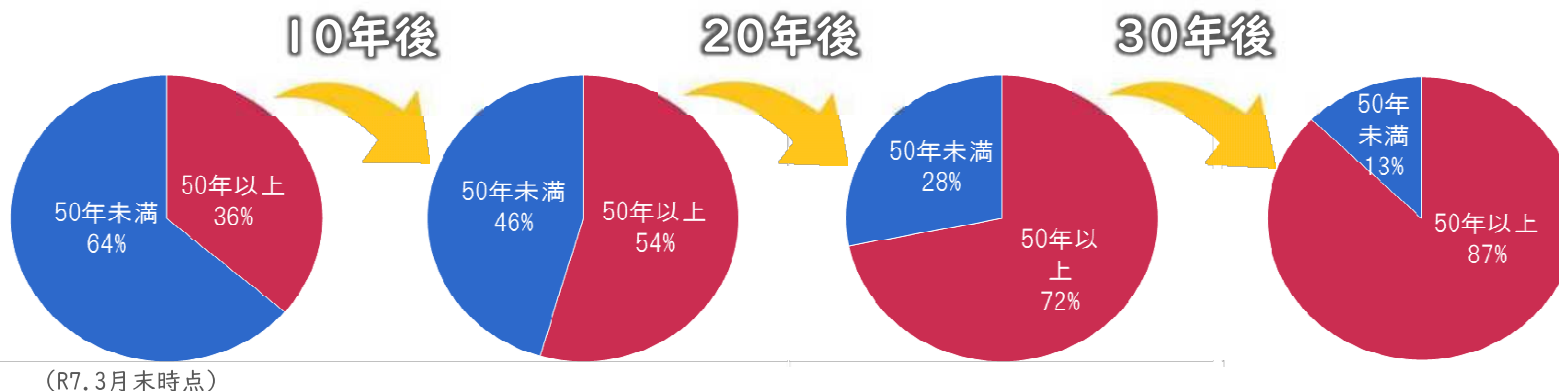


落橋防止装置

橋梁長寿命化修繕計画

進行する高齢化

橋齢50年を超える橋梁の割合は、現在の約4割が、30年後に約9割へと加速的に増加します。



橋梁長寿命化修繕計画

橋梁長寿命化修繕計画は、県が管理する橋梁について、道路法に基づく定期的な点検を行い、橋梁の健全度を随時把握するとともに、その点検結果を反映して、損傷が小さい段階から小まめに補修を行うといった一連の取組の進め方をまとめた年次計画です。

この計画に基づき、適切に橋梁の点検と補修を行うことにより、橋梁の長寿命化と維持管理費の縮減、平準化を図ることが可能となり、効率的で信頼性の高い橋梁の維持管理を行うことができます。

<補修事例> 六五郎橋 (主要地方道 佐賀八女線)



プロジェクトIF (佐賀県内水対策プロジェクト)

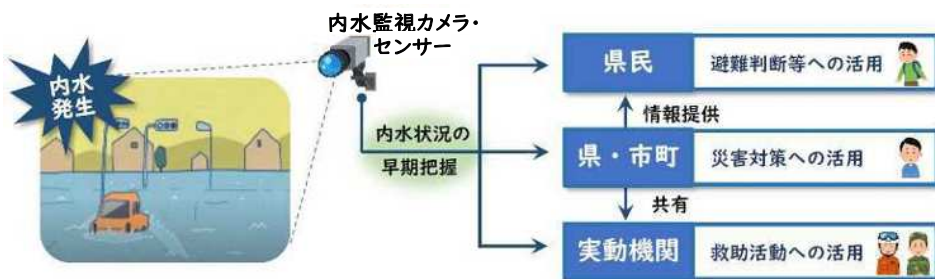
佐賀県武雄市や大町町等において、令和元年度の豪雨により内水氾濫の被害を受け、令和3年度には前回の発生からわずか2年で、再び同地域で内水氾濫の被害を受けました。

このような、近年多発する豪雨に対して、気候変動対応型の災害対策を行うため、令和3年9月に内水対策プロジェクト「プロジェクトIF (Inland water Flooding)」を立ち上げました。

プロジェクトIFにおける道路に関する取組として、内水状況の早期把握、実働機関との共有、県民への情報提供を行い、人命を守るために、内水氾濫の恐れのある地域の道路に内水監視カメラや道路情報板等の設置を進めています。



令和3年度内水氾濫状況 (武雄市)



県が管理する道路の内水監視カメラの運用を開始することに伴い、同カメラで撮影した最新の道路状況 (ライブカメラ画像) を佐賀県ホームページで公開しています。

どなたでもパソコンやスマートフォン等からご覧いただけます。



<https://www.pref.saga.lg.jp/bousai/kiji00386819/index.html>

佐賀県HP → 防災・減災さが → (防災関連情報) 交通・道路情報 → 県内道路のライブカメラ画像



内水監視カメラ



道路情報板

※当該ウェブページ内の外部リンクにアクセスすると、県管理道路や国管理道路のライブカメラ画像を見ることができます。

佐賀県の有料道路

有料道路事業は、借入金によって道路を建設し、通行料金によって返済するもので、受益者負担の考え方に基づいています。通行料金は、一定期間内の料金収入で、道路の建設費、維持管理費、借入金利息など期間内のすべての支出を賄えるように決められています。

平成19年5月に鳥栖筑紫野有料道路、平成19年11月に国見有料道路、平成25年4月に二丈浜玉道路が料金徴収期間を終え、無料開放となりました。また、平成30年3月には九州横断自動車道長崎大分線において、小城スマートインターチェンジが開通し、令和6年6月には、九州縦貫自動車道鹿児島線において、「小郡鳥栖南スマートインターチェンジ」が開通しました。

佐賀県内の有料道路

有料道路 (ロードネーム)	路線名 (通称名)	延長(km) (県内)	R3センサ12時間 交通量(台)	事業主体
九州横断自動車道 長崎大分線	(長崎道、大分道)	257 (74.4)	21,443 ¹⁾	西日本高速道路株式会社
九州縦貫自動車道 鹿児島線	(九州道)	428 (7.3)	72,666 ²⁾	西日本高速道路株式会社
西九州自動車道 (武雄佐世保道路)	国道497号	22.0 (4.9)	5,773 ³⁾	西日本高速道路株式会社
三瀬トンネル (やまびこロード)	国道263号	5.3 ⁴⁾ (2.1)	3,650	佐賀県道路公社
厳木多久道路 (ひまわりロード)	国道203号	3.6 (3.6)	2,695	佐賀県道路公社
東脊振トンネル (さざんかロード)	国道385号	2.2 ⁵⁾ (2.2)	2,351	佐賀県道路公社

注：1) 東脊振IC～佐賀大和IC間

2) 筑紫野IC～鳥栖JCT間

3) 武雄南IC～波佐見有田IC間

4) うち、トンネル延長2.4km

5) うち、トンネル延長1.4km



九州縦貫自動車道 小郡鳥栖南スマートIC (令和6年6月9日開通)

佐賀県の道の駅

佐賀県においては、現在11箇所が道の駅に登録されています。



- ・道の駅 鹿島 (かしま) H6.4
- ・道の駅 厳木 (きゅうらぎ) H6.8
- ・道の駅 伊万里 (いまり) H7.4
- ・道の駅 桃山天下市 (ももやまてんかいち) H9.4
- ・道の駅 山内 (やまうち) H10.4
- ・道の駅 大和 (やまと) H14.8
- ・道の駅 吉野ヶ里 (よしのがり) H19.3
- ・道の駅 太良 (たら) H19.3
- ・道の駅 しろいし R1.6
- ・道の駅 うれしのまるく R4.2
- ・道の駅 かみみね R6.8

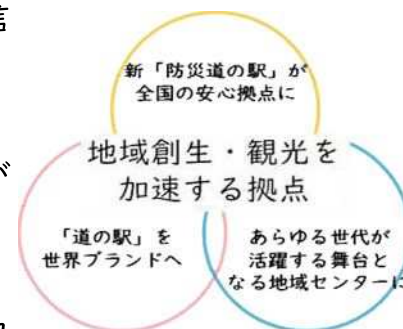
※年月は「道の駅」登録年月

道の駅とは

「道の駅」は、道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の方々のための「情報発信機能」、そして道の駅をきっかけに町と町とが手を結び活力ある地域づくりをともに行うための「地域の連携機能」、の3つの機能を併せ持つ施設として誕生しました。

「道の駅」は創設以来、多くの方々に利用されており、提供するサービスに対して更なる期待が高まるとともに、防災や観光、福祉など多様な社会ニーズへの対応も求められています。

今後は、観光や防災など地方創生に向けた取り組みを官民の力を合わせて加速させ、「道の駅」同士や民間企業、道路関係団体等との繋がりを面的に広げることにより、地域経営の拠点として力を高めるとともに、新たな魅力を持つ地域づくりへの貢献を目指します。

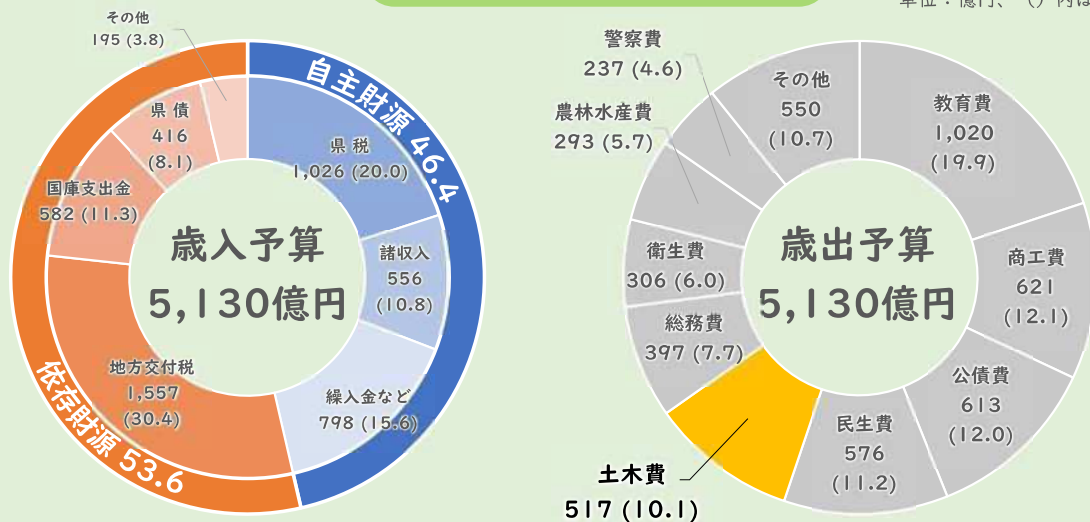


道路の予算

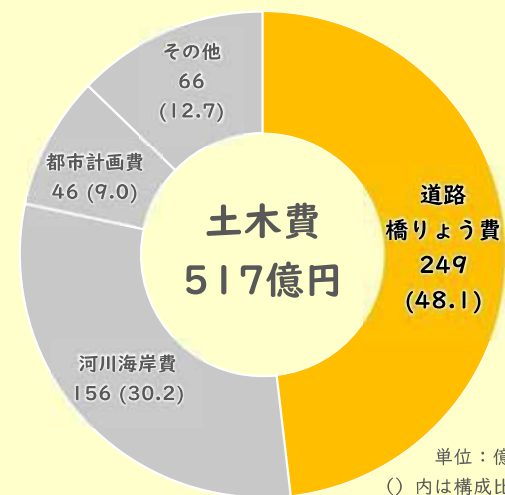
佐賀県の令和7年度一般会計予算（令和7年度当初予算）は約5,130億円です。このうち土木費は約517億円で歳出予算総額の約1割を占めています。また土木費のうち道路橋りょう費は約249億円で土木関係予算の約5割を占めています。道路橋りょう費は平成7年度をピークに徐々に減少しており、近年はピーク時の約4割程度の水準となっています。

令和7年度 佐賀県一般会計予算

単位：億円、（）内は構成比%

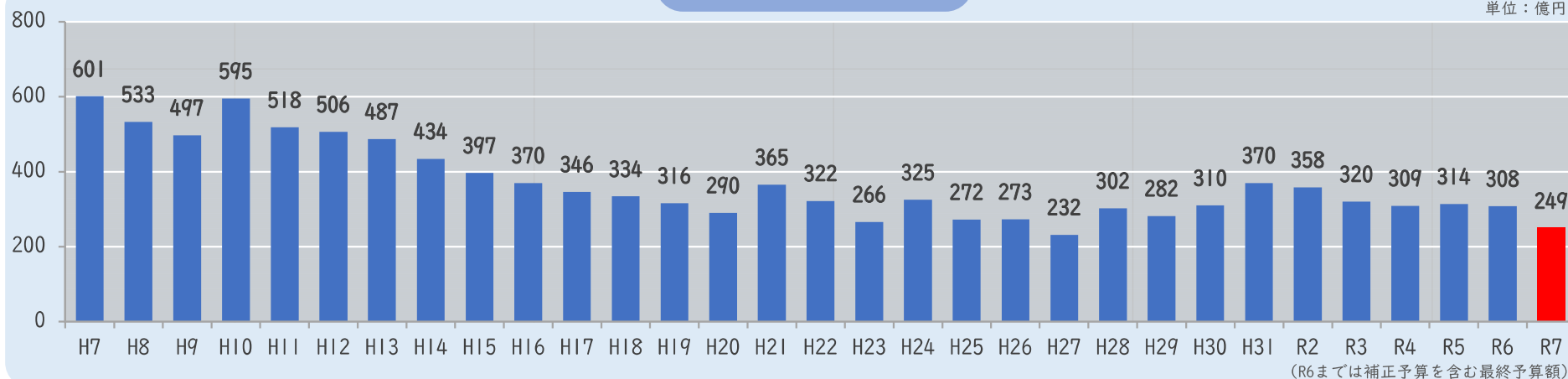


令和7年度 土木関係予算



道路橋りょう費の推移

単位：億円



佐賀県の橋梁とトンネル

佐賀県の長大橋ベスト10（高規格道路以外）

順位	橋名	路線名	橋長(m)	所在地	管理者
1	鷹島肥前大橋	鷹島肥前線	1,251.0	唐津市 長崎県松浦市	佐賀県 長崎県
2	武雄高架橋	一般国道34号	1,001.2	武雄市	国土交通省
3	呼子大橋	市道 呼子大橋線	728.0	唐津市	唐津市
4	川副大橋	大託間光法停車場線	695.0	佐賀市	佐賀県
5	佐留志高架橋	一般国道34号	657.0	江北町	国土交通省
6	嘉瀬川大橋	一般国道34号	515.8	佐賀市 小城市	国土交通省
7	早津江橋	大牟田川副線	510.0	佐賀市 福岡県大川市	佐賀県 福岡県
8	松浦橋	虹の松原線	496.0	唐津市	佐賀県
9	六五郎橋	佐賀八女線	450.0	神埼市 福岡県久留米市	佐賀県 福岡県
10	天建寺橋	西島筑邦線	426.0	みやき町 福岡県久留米市	佐賀県 福岡県

佐賀県の長大橋ベスト5（高規格道路のみ）

順位	橋名	路線名	橋長(m)	所在地	管理者
1	片白高架橋	九州横断自動車道	1,568.5 1,576.1	武雄市	西日本高速道路 株式会社
2	北方高架橋	九州横断自動車道	1,108.5 1,108.2	武雄市	西日本高速道路 株式会社
3	六角川大橋	一般国道444号 有明海沿岸道路	982.0	小城市 白石町	佐賀県
4	有明早津江川大橋	一般国道444号 有明海沿岸道路	854.0	佐賀市 福岡県大川市	国土交通省
5	半田高架橋	西九州自動車道	825.0	唐津市	国土交通省

※上段（上り線） 下段（下り線）

佐賀県の長大トンネルベスト10（高規格道路以外）

順位	トンネル名	路線名	トンネル長(m)	所在地	管理者
1	三瀬トンネル	一般国道263号	2,407.0	佐賀市 福岡県福岡市	佐賀県道路公社
2	平谷黒木トンネル	一般国道444号	1,889.0	鹿島市 長崎県大村市	佐賀県 長崎県
3	東脊振トンネル	一般国道385号	1,411.0	吉野ヶ里町	佐賀県道路公社
4	女山トンネル	多久若木線	1,259.0	多久市 武雄市	佐賀県
5	国見トンネル	一般国道498号	955.0	有田町 長崎県佐世保市	佐賀県 長崎県
6	鳥越トンネル	鹿島嬉野線	604.0	嬉野市	佐賀県
7	唐房トンネル	一般国道204号	487.0	唐津市	佐賀県
8	野々平トンネル	市道 厳木ダム線	449.0	唐津市	唐津市
9	馬神トンネル	武雄多久線	440.0	武雄市	佐賀県
10	赤穂山トンネル	武雄伊万里線	415.0	武雄市	佐賀県

佐賀県の長大トンネルベスト5（高規格道路のみ）

順位	トンネル名	路線名	トンネル長(m)	所在地	管理者
1	俵坂トンネル	九州横断自動車道	2,650.0 2,609.0	嬉野市 長崎県東彼杵町	西日本高速道路 株式会社
2	不動山トンネル	九州横断自動車道	2,043.0 2,006.0	嬉野市	西日本高速道路 株式会社
3	杵島トンネル	九州横断自動車道	1,166.5 1,194.5	武雄市	国土交通省
4	北波多トンネル	西九州自動車道	957.0	唐津市	国土交通省
5	養母田トンネル	西九州自動車道	729.0	唐津市	国土交通省

※上段（上り線） 下段（下り線）

《道路に関するお問い合わせ》

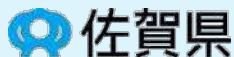
- 九州自動車道、長崎自動車道、武雄・佐世保道路について
西日本高速道路株式会社佐賀高速道路事務所 TEL：0952-62-5121
西日本高速道路株式会社久留米高速道路事務所 TEL：0942-43-4612
西日本高速道路株式会社長崎高速道路事務所 TEL：0957-26-0011
- 三瀬トンネル、厳木多久道路、東脊振トンネルについて
佐賀県道路公社 TEL：0952-20-2040
佐賀県道路課・道路安全推進室 TEL：下記参照
- 国道3号、34号、202号、203号、208号（佐賀環状線を除く）、497号について
国土交通省佐賀国道事務所 TEL：0952-32-1151
- 国道208号「有明海沿岸道路（大川佐賀道路）」について
国土交通省有明海沿岸国道事務所 TEL：0944-74-2930
- その他国道、県道について
佐賀県道路課・道路安全推進室 TEL：下記参照
（他現地機関） TEL：下記参照

--- 現地機関連絡先 ---

- 佐賀土木事務所 TEL：0952-24-4345
- 東部土木事務所 TEL：0942-83-4176
- 唐津土木事務所 TEL：0955-73-2861
- 伊万里土木事務所 TEL：0955-23-4151
- 杵藤土木事務所 TEL：0954-22-4184
- 有明海沿岸道路整備事務所 TEL：0952-66-0912

--- 道の相談室 ---

- 九州管内（受付時間下記参照） TEL：092-672-5614
- 佐賀地区（受付時間下記参照） TEL：0952-29-2511
- （※ 受付時間 9：30～17：00（平日のみ））
- 緊急通報（24時間受付） TEL：#9910



編集発行：県土整備部 道路課・道路安全推進室
〒840-8570 佐賀市内1丁目1-59


TEL：0952-25-7155・7156 E-mail：douro@pref.saga.lg.jp

佐賀県HP：http://www.pref.saga.lg.jp/

佐賀県

「ありあけ海道盛り上げ隊」活動キックオフイベント開催
未来へつなごう有明の“宝”
 ～ありあけ海道 ゆっくら～と～

日時 令和7年8月2日(土) 15:00～17:30
 場所 鹿島市民文化ホール「SAKURAS」



【第1部】日本風景街道九州ルート登録証交付式 (主催:九州風景街道推進会議)



石原進 九州風景街道推進会議 会長
 (九州旅客鉄道会社 元社長)



登録証手交



福井貴規 九州地方整備局 道路部長

【第2部】未来へつなごう有明の“宝”～ありあけ海道 ゆっくら～と～ (主催:ありあけ海道盛り上げ隊)



意見発表(鹿島地区)



三原ユキ江 ありあけ海道盛り上げ隊 代表



意見発表(小城地区)



意見発表(太良地区)

ありあけ海道盛り上げ宣言

有明海沿岸地域は、有明海の広大な干潟をはじめとした、特色ある自然や歴史、文化、食などの“宝”が数多く存在し、この“宝”の恩恵により、地域の営みが育まれてきました。この度、「ありあけ海道」が日本風景街道に登録され、これを弾みに、有明海沿岸における魅力あふれる資源をさらに磨き上げ、人を呼び込み、地域を盛り上げるため、以下項目に取り組むことを宣言します。

- 一、各地域における取り組みを、継続・持続可能なものとし、特色ある地域資源をさらに磨き上げていきます
- 一、各地域における取り組みを、地域を超え連携・発信し、さらに人を呼び込み、盛り上げていきます
- 一、有明海沿岸地域をぐるっとつなぐ有明海沿岸道路などの道路整備が一刻も早く進むよう活動します

ありあけ海道盛り上げ宣言



【第3部】交流会



垣下祥裕 九州地方整備局 局長



有明海沿岸道路・佐賀唐津道路

2025.11.25(火) ジャンクションT 着工



遠隔重機による掘入れ



垂れ幕披露



建設機械等の操作体験



記念パネル製作



【Tゾーン】

- ・有明海沿岸道路と佐賀唐津道路が接続するエリア

【ジャンクションT】

- ・2つの道路の合流・分岐点
- ・（仮称）佐賀ジャンクションの愛称

